

## 新宿のお薬師様 瑠璃殿



お話：熊谷與志雄さん

薬師様が安置されてあるこのお堂は「瑠璃殿」という名前で、棟札には宝永5年（1708）不動院、東善院宝純の造立となっている。しかし、その前から薬師様はあるわけなので、再建された年であろうとされている。

不動院は羽黒山の末寺で、皆さんが登ってきた参道の左側の山手の方にあった。参道脇には、代々別当を務められた方のお墓が並んでいる。私らが小さい頃までは、佐藤さんという方が別当をして管理していた。

お堂は、今はトタン葺きの屋根だが、昔は茅葺きだった。現在の管理は新宿区になっている。



不動院墓所

（於：平成17年11月6日 あさひまち宝紀行「紅葉の城下町新宿を訪ねる」）

新宿のお薬師様

## お薬師様と脇侍、眷属神



日光菩薩



薬師如来



月光菩薩



十二神将 (うち二体)

### お話：熊谷興志雄さん

薬師如来は健康面に御利益がある。日光菩薩は昼の世界を照らして我々を守って下さっている。月光菩薩は夜の世界を照らして守って下さっている。また、それを補佐する十二神将は、それぞれ方角や時間が割り振りされていて私達を守ってくれている。頭にはそれぞれの干支が乗っている。だから、ここをお参りすると体が丈夫になる。昼夜に関わらず守ってくれるから本当にありがたいんだ。

お祭りは、毎年五月第二日曜日にやっているののでいらして下さい。

(於:平成 17 年 11 月 6 日 あさひまち宝紀行「紅葉の城下町新宿を訪ねる」)

新宿のお薬師様

## 修復されたお薬師様



お話：熊谷興志雄さん

地方の小さな村で、薬師如来とその眷属の十二神将がそろっているのはとてもめずらしいと、京都の先生がおっしゃっていた。山形大学の先生も始終来ていた。

薬師如来像がいつ頃作られたかについて、修復の折に前と後ろを割って見てもらったが、中にお経も入っておらず、なにも書かれてもいなかった。なにもないということは、相当古いということがいえるようで、平安時代のものではなかろうかと推測されている。修復の際は、蓮の花の花弁も一枚一枚バラバラにして行っていた。ここは湿気のたまりやすい場所なので、大量の炭を袋詰めにして像の下に置いている。

ここに証書が飾ってありますが、修復したことで平成5年に県の文化財の指定をもらった。修復には、町の志藤六郎基金、宮宿町内の有志、新宿出身者など多くの皆さんの寄付1100万円がかかっている。そのうち200万円はお堂の修理にあてた。皆さんの大きな力でこうして祀ることができている。

(於:平成17年11月6日 あさひまち宝紀行「紅葉の城下町新宿を訪ねる」)